

執筆者紹介 (掲載順)

執筆者 職位 (所属学科) 専門分野 主な担当科目など

鈴木 弘孝 教授 環境社会学部長 博士 (農学)・技術士 (建設部門)
専門分野: 緑地計画・緑地政策・都市緑化・環境デザイン
主な担当科目: 環境政策論・環境関連法・緑地まちづくり・屋上緑化・エクステリア・土壌肥料論・プロジェクト研究C
主な業績: 環境情報科学センター学術論文賞・日本造園学会学術論文奨励賞
主な著書: 『緑と地域計画Ⅱ』 (共著, 古今書院, 2011)・『緩衝緑地整備における事業効果分析と樹林構造の評価』 (単著, 建築研究所, 2008)・『壁面緑化による建築敷地・街区での温熱環境改善効果に関する研究』 (単著, 建築研究所, 2007)・『市民ランドスケープの展開』 (共著, 環境コミュニケーションズ, 2006)・『市民ランドスケープの創造』 (共著, 公害対策技術同友会, 1996)・『造園の事典』 (共著, 朝倉書店, 1995)・『造園施工管理技術編』 (共著, (社)日本公園緑地協会, 1995)・『都市公園におけるオートキャンプ場計画指針』 (共著, (社)日本公園緑地協会, 1994)

瀧 章次 准教授 (環境社会学部 環境社会学科)
専門分野: 西洋古典学
主な担当科目: キャリア形成演習 I~IV、倫理学、西洋思想 (大学院)
主な業績: 'The Origin of Interrogation Marks in the Medieval Manuscripts of Plato's *Republic* and Its Significance in the Tradition of Plato's Dialogues' in: N. Notomi and L. Brisson (eds.), 2013, *Dialogues on Plato's Politeia (Republic)*. Selected Papers from the IX Symposium Platonicum, Sankt Augustin: Academia Verlag: 30-39.

川口 健夫 教授 (環境社会学部 環境社会学科)
専門分野: ハーブ、アロマセラピー、タラソセラピーなど
主な担当科目: ハーブ園芸、香りの心理、園芸植物病論、環境社会プロジェクト研究 a, c、環境社会海外研修
主な業績: Selective Antitumor Effect of 3',5'Dioctanoyl-5-fluoro-2'-deoxyuridine, a Lipophilic Prodrug of 5-Fluoro-2'-deoxyuridine, Dissolved in an Oily Lymphographic Agent on Hepatic Cancer of Rabbits Bearing VX-2 Tumor, *Cancer Research*, 47, 1390-1394 (1987).
Intraarterial Infusion of 5-Fluoro-2'-deoxyuridine-C8 Dissolved in a Lymphographic Agent in Malignant Liver Tumors, *Cancer*, 64, 2437-2444 (1989).
主な著書: 『Pharmacokinetics A MODERN VIEW』 (共著, Plenum, New York 1984) 『薬と代替療法』 (単著, プラス出版, 2006) 『香りで難病対策』 (単著, フレグランスジャーナル社, 2011)

- 国武 陽子 准教授（環境社会学部 環境社会学科）
専門分野：生態学
主な担当科目：環境生態学、里地里山保全論、環境教育論、インターンシップ
主な業績：「Role of seasonally specialist bird *Zosterops japonica* on pollen transfer and reproductive success of *Camellia japonica*」 *Plant species biology*, 19 pp197-201(2004).
「シカの採食による植物へのフィードバック型間接効果－花粉媒介と果実寄生を介して－」 *日本林学会誌* 90 (5), pp 342-347 (2008)
- 原地 司 城西国際大学 環境社会学部 環境社会学科 4年
- 小島ジャーミー 同 上
- 磯野 光平 同 上
- 谷口 智彦 城西国際大学 環境社会学部 環境社会学科 3年